

「青谷地域にぎわい創出事業（仮称）」（案）

1. 背景と目的

山陰海岸ジオパークの最西端に位置する鳥取市青谷町は、因州和紙、上寺地遺跡などの文化・史跡等の歴史的資産や豊かな自然環境を備えた鳥取市の西の玄関口である。

平成16年11月の合併以前から文化祭と産業祭を兼ねた「青谷ようこそまつり」を開催してきたが、ここ数年市民からマンネリ化の声とともに地域に賑わいを生み出す事業への転換を求める意見も多く聞かれるようになった。

また、伝統産業である因州和紙の後継者の育成が進まず、産地としての存続が危ぶまれている。

こうした背景を踏まえ、この度「青谷ようこそまつり」を全面的に見直し、まちなかへの賑わいの誘導を目的とした、定期的なイベントの開催による周遊型の「青谷ようこそ市場（通称：「あおいち」）開催事業」へ事業転換するとともに、因州和紙活性化のさらなる強化を目指した「青谷因州和紙産地強化事業」の2事業に分割した「青谷地域にぎわい創出事業（仮称）」に事業見直しを行う。

2. 事業主体（補助事業者）等

標記2事業の実施にあたり、補助事業者を「青谷地域にぎわい創出事業実行委員会」とし、事務局を青谷町総合支所地域振興課に置く。実行委員会に事業部会を設け、実行委員会、事業部会の構成団体は、以下のとおり。

○実行委員会

- ・鳥取西商工会（青谷町商工会）、JA 青谷、JF 夏泊漁協、上寺地遺跡展示館、あおや郷土館、あおや和紙工房、青谷因州和紙組合、青谷町文化協議会、青谷高校ほか

○事業部会

- ・事業部会の構成団体は、以下の「事業の概要」中、協賛団体に記載のとおり

3. 事業の概要

①「青谷ようこそ市場（通称：「あおいち」）開催事業」

事業実施主体：

協賛団体：青谷町商工会、青谷駅前商店会、上寺地遺跡展示館、あおや郷土館、青谷文化協議会、JA 青谷、JF 夏泊漁協、青谷ようこそ館、かちべ伝承館、のぞみハウス、愛ファクトリー、37 メンバー、かどっこ商店、青谷高校ほか、本事業に協賛、出店する団体及び個人

事業期間：毎月第○日曜日 ○時～○時 6月から11月

事業場所：青谷町駅前 通称：青谷賑わい広場（青谷ようこそ館前）

事業概要：◆定期市：青谷町内で生産、加工された製品の販売・試食

◆まちなかギャラリー：作家・グループによる作品展示

※青谷商工会館、駅前空き店舗活用

◆イベント：有志及び園児、生徒、学生によるパフォーマンス

◆上寺地遺跡展示館、あおや郷土館等との連携

◆あおや夏祭りとの共同開催、土曜夜市の復活等を検討

②「青谷因州和紙産地強化事業」

事業実施主体：

協賛団体：青谷因州和紙組合、あおや和紙工房、因州青谷こうぞ紙手すき和紙保存会、日置地区公民館、日置まちづくり協議会、青谷高校ほか、本事業に協賛する団体及び個人

事業期間：適宜実施

事業場所：主会場 あおや和紙工房 その他

事業概要：◆因州青谷こうぞ紙手すき和紙保存事業

※世界文化遺産登録を目標とした準備事業

・原料から生産、販売までの一貫した因州和紙の産地存続化に再度取り組む

◆因州和紙情報発信事業

※情報発信フェア（因州和紙 PR のための商談会等）

◆因州和紙 PR イベント開催事業

※和紙あかり展、書道展、書道パフォーマンス、衣裳展等

・和紙工房企画展との調整が必要

4. 予算措置

「青谷地域にぎわい創出事業」補助金交付要綱による一括交付

※事業別に予算書・決算書を作成し、合算後、全体事業費とする。